

## 北アジア CAPE 交流会

### ニュージーランドの大学生とオンラインで交流

新年度SGH関連事業の最初のイベントとして、北アジアCAPEとの交流会を4月20日（火）に開催しました。北アジアCAPEとは、日中韓との交流を促進する人材を育成するために、ニュージーランド政府が設立した公的機関です。これまで2年に1度の割合で交流を行ってきました。

今年度もこのCAPEを通じ、ニュージーランドの大学で日本語を勉強している11名の外国人大学生とZoomを用いてオンライン異文化交流を行いました。

3年SGコースの生徒たちは、科目「SG探究活用」の一環として、ニュージーランドのみなさんに日本語で日本文化を紹介したり、現在進めている課題研究に関して英語でディスカッションを行ったりしました。新たな視点から自分たちの研究を見直すなど、7月の成果発表会に向けてよい刺激になりました。



## 「妥協せずに伝えられる英語力」「相手がどんな思いで接してくださっていたか知った」

感想：質問に答えてくださっている内容が少し難しくで完全理解することができず、悔しかったです。もっと自分の伝えたいことを妥協せずに伝えられる英語力を身に着けたいと思いました。

感想：相手がどこまで日本語をしゃべれるのか把握するのに時間がかかったけど、質問していくうちにわかりそうな単語を創造することで会話がよりスムーズになった。普段は私たちの英語を相手が聞いてくれる場面が多いが、相手がどんな思いで接してくださっていたのかわかるいい機会になった。

感想：大学生の日本語を学ぶとする意欲のすごさに驚かされました。自分から積極的に話しかけるその姿勢は、私たちも見習わなければいけないと思います。

## Chromebook 258台導入！

今年度、本校にノートパソコン Chromebook が導入されました。SGHのオンライン事業で活躍しています。密回避のみならず、ノイズレスでスムーズな操作により、研究活動の活性化に寄与しています。



## 6月の事業予定

### 思修館院生による研究指導(24H)

- ・6月12日（土）開催予定（オンライン）
- ・SG探究で進めている課題研究について、京都大学の大学院生に現時点での研究計画に対する助言をしてもらいます。



### プリンストン大学国際交流(34H)

- ・6月29日（火）開催予定（オンライン）
- ・7月の課題研究成果発表会に向けての中間発表として、米国プリンストン大学の学生に英語でプレゼンを行い、アドバイスをもらいます。

### International Trade Challenge (1・2年対象)

- ・7月2日（金）一次審査結果発表
- ・テーマに沿って新しい商品・サービスを考案し、ターゲット国で販売するための市場参入戦略を競うコンテストです。1年2ペア、2年3ペアが応募しており、一次審査（書類選考）を通過すれば、7月18日に開催予定の国内大会に進出します。